

# 運輸・倉庫業

## 業況、売上、採算

今期（2023.1～3）の業況判断DIは37.5で、前年同期（2022.1～3）と比べ78.7ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

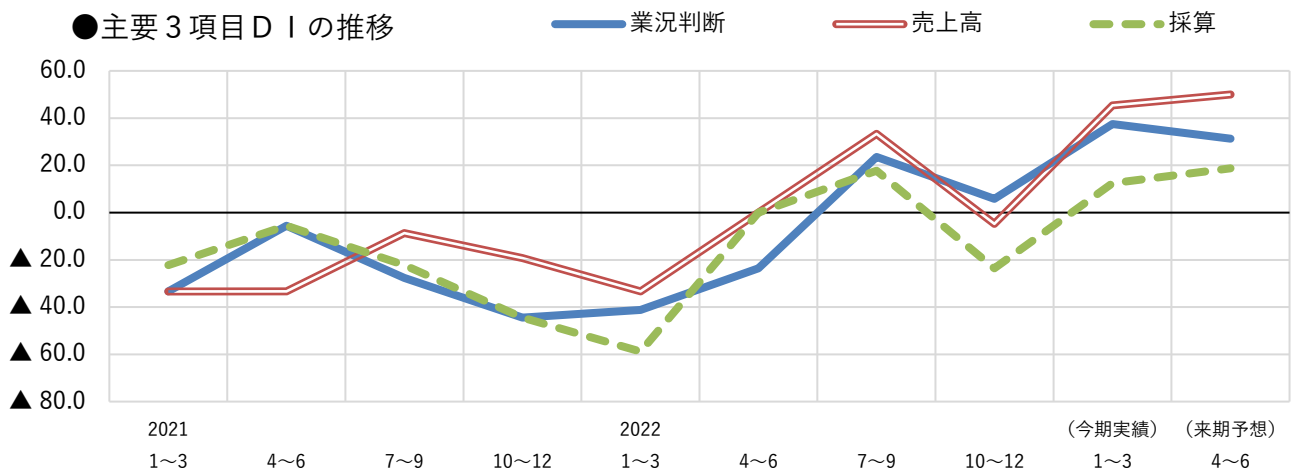
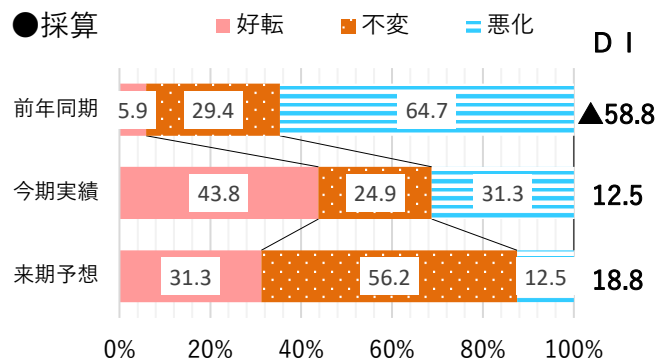
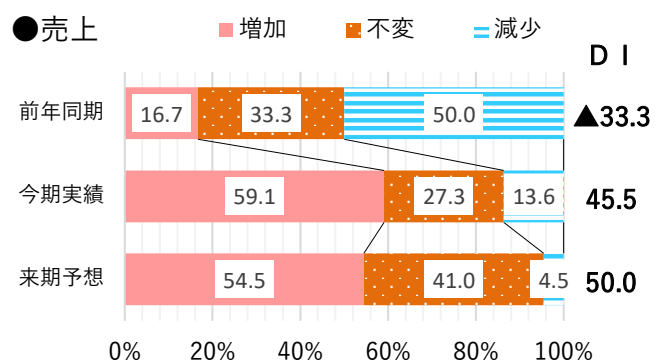
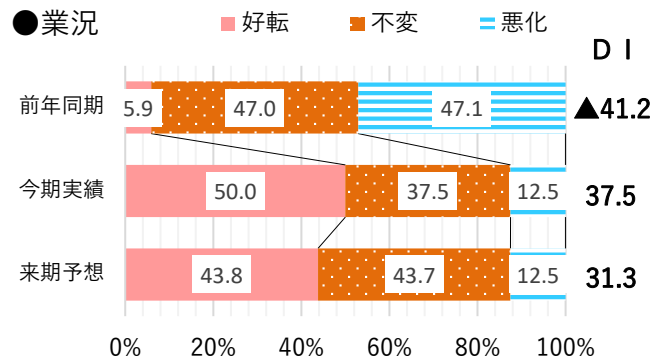
来期（2023.4～6）は、業況の好転傾向が続くと予想しています。

今期の売上高DIは45.5で、前年同期と比べ78.8ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

来期は、売上の増加傾向が続くと予想しています。

今期の採算DIは12.5で、前年同期と比べ71.3ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

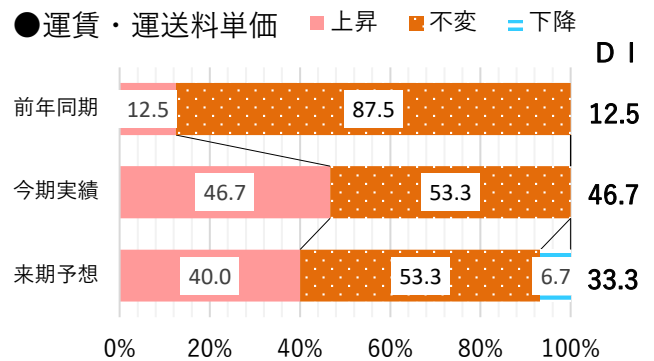
来期は、採算の好転傾向が続くと予想しています。



運賃・運送料単価、保管料単価

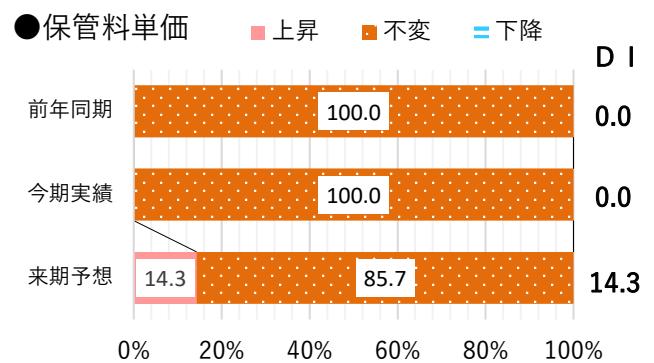
今期の運賃・運送料単価DIは46.7で、前年同期と比べ34.2ポイントと大幅に上昇しました。

来期は、運賃・運送料単価の上昇傾向が続くと予想しています。



今期の保管料単価DIは0.0で、前年同期と比べ横ばいとなりました。

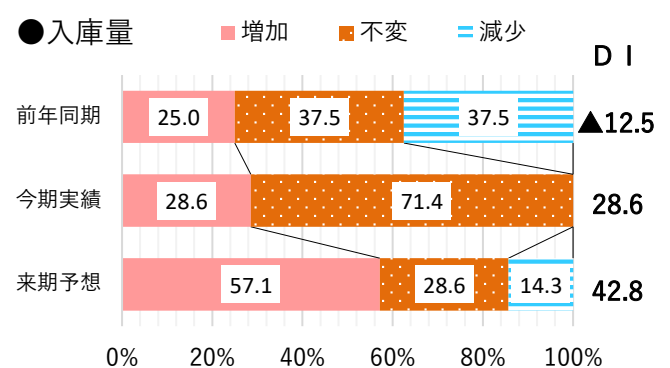
来期は、保管料単価の上昇を予想しています。



入庫量、出庫量、保管残高

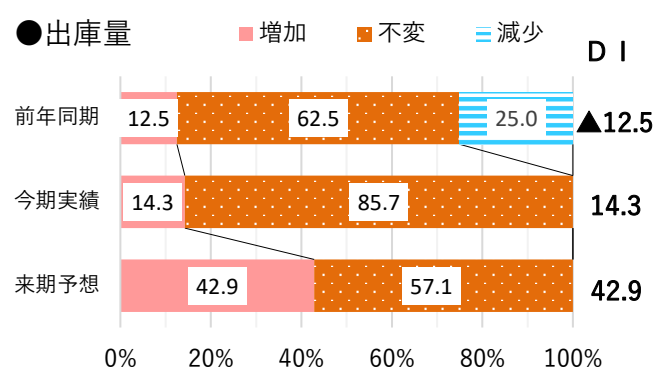
今期の入庫量DIは28.6で、前年同期と比べ41.1ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

来期は、入庫量の増加傾向が強まると予想しています。



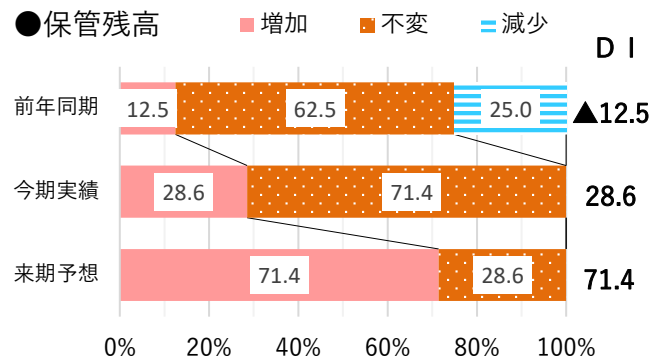
今期の出庫量DIは14.3で、前年同期と比べ26.8ポイント上昇し、プラスに転じました。

来期は、出庫量の増加傾向が強まると予想しています。



今期の保管残高DIは28.6で、前年同期と比べ41.1ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

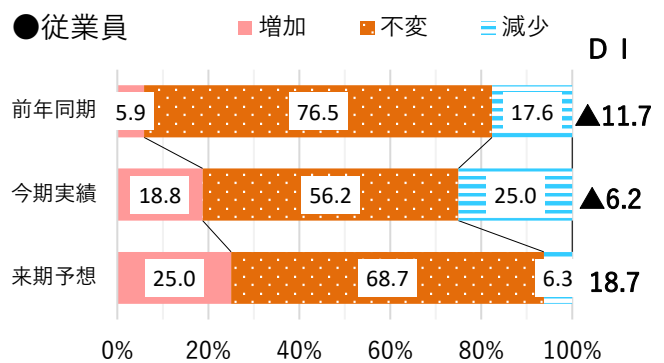
来期は、保管残高の増加傾向が大幅に強まると予想しています。



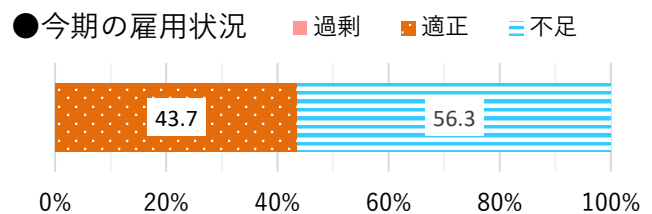
### 従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは▲6.2で、前年同期と比べ5.5ポイント上昇しました。

来期は、従業員数がプラスに転じると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は43.7%、不足していると回答した企業の割合は56.3%でした。



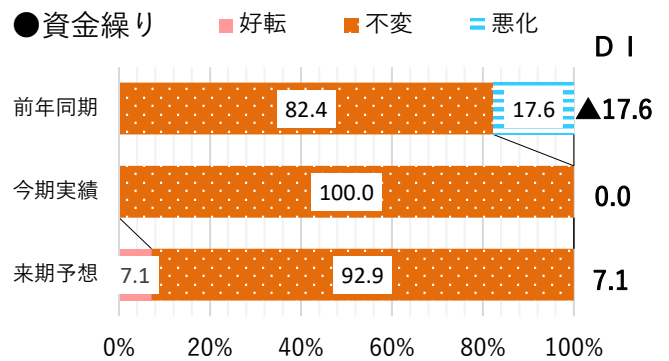
従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、31.2%を占めました。回答全体では半数以上が従業員不足と回答しています。

| 今期従業員数 | 今期の雇用状況 | 回答数 |
|--------|---------|-----|
| 増加した   | 過剰      | 0   |
|        | 適正      | 2   |
|        | 不足      | 1   |
| 不変だった  | 過剰      | 0   |
|        | 適正      | 5   |
|        | 不足      | 4   |
| 減少した   | 過剰      | 0   |
|        | 適正      | 0   |
|        | 不足      | 4   |

資金繰り、設備投資

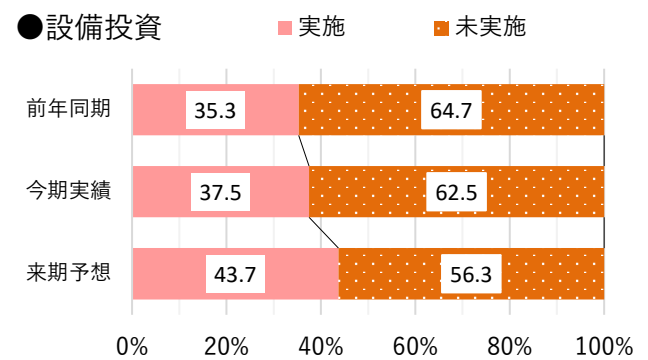
今期の資金繰りDIは0.0で、前年同期と比べ17.6ポイント上昇しました。

来期は、資金繰りの好転を予想しています。



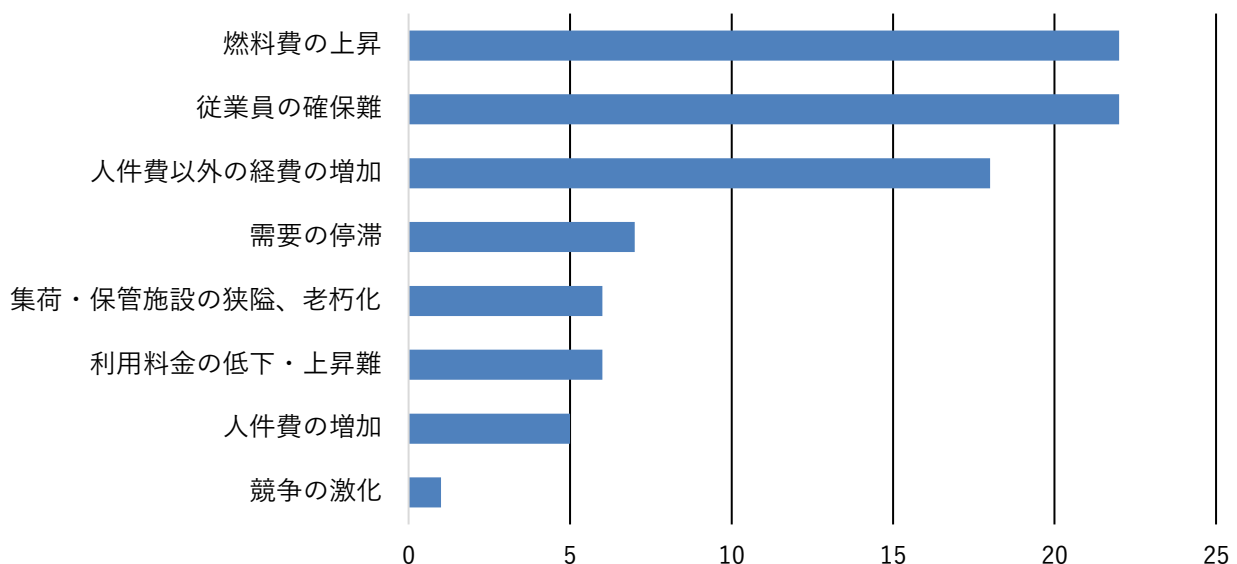
設備投資を実施した企業の割合は37.5%で、前年同期と比べ2.2ポイント上昇しました。投資内容は、1位が「輸送機材」、  
「OA機器」（同位）、2位が「その他」の順です。

来期に設備投資を計画している企業の割合は43.7%で、増加を予想しています。



経営上の問題点

今期直面した経営上の問題点は、1位が「燃料費の上昇」、「従業員の確保難」（同位）、2位が「人件費以外の経費の増加」、3位が「需要の停滞」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 運賃単価の引き上げや業務量の増加により、売上が増加し、業況が好転した。(道路貨物運送)
- 人件費、設備の減価償却費、車両価格すべてが上昇し、採算が悪化した。(道路貨物運送)
- 人材流出が多く、確保に苦慮している。(道路貨物運送)
- 全ての仕入価格が大幅に上昇した。(道路貨物運送)
- 取引額が増加した。(道路貨物運送)
- 運搬量が増加した(道路貨物運送)
- 新型コロナウイルス感染者の減少により観光客が増加し、売上に繋がった。(道路旅客運送)
- 売上が増加したが、人件費や燃料費等の高騰分を吸収できていない。(道路旅客運送)
- 売上が増加した。(道路旅客運送)
- 売上の増減はほぼないが、燃料費等が高騰している。(倉庫)
- 新型コロナウイルスの沈静化と全国旅行支援等で旅客が増加した。経済活動が回復に向かっており、貨物も徐々に回復している。(水運)

[来期の業況について]

- 運賃の値上げを予定する。新規受注の増加が見込まれるため、業況の好転を見込む。(道路貨物運送)
- 今後も運賃単価を引き上げる予定のため、好転を見込む。(道路貨物運送)
- 新卒採用はできたが、いまだに不足している。(道路貨物運送)
- 大型案件が始まるため、好転を見込む。(道路貨物運送)
- 仕入価格の上昇が続くと思われる。(道路貨物運送)
- 前年並みの業況だと思われる。(道路貨物運送)
- 売上は増加すると思われるが、人件費や燃料費等の上昇分は吸収できないだろう。(道路旅客運送)
- 従業員の高齢化に伴い、退職者が増加する。(道路旅客運送)
- 売上の増加を見込む。(道路旅客運送)
- 荷動きが少ない冬が明け、入在庫量が増加する。将来を見据え、社員の中途採用を予定する。(倉庫)
- 在庫量の増加を見込む。(倉庫)
- インバウンド、消費の増加に伴う貨物取扱数量の増加を見込む。その一方で、燃料費等の高騰によるコストの増加が予想されるため、取扱料金の値上げ対応が急がれる。(港湾運送)
- 新型コロナウイルスが沈静化し、全国旅行支援が延長されれば売上の増加が見込める。物価高騰に伴い荷動きが悪くなっている物品があるため、貨物の動向は不透明だ。(水運)